

「柿の里バス」を便利に使って利用者拡大 ポイントカードとマップを用いて

石巻・下条地域交通推進委員会

豊橋市

団体概要

団体名： 石巻・下条地域交通推進委員会

代表者： 会長 今川 正弘

団体目的： 地域住民が主体となり、安全に安心して豊かな生活をしていけるよう、地域に合った持続可能なマイバスを創ることを目的として活動

活動地域

豊橋市北部地域（石巻・下条地域）

取組の経緯・背景と目的

石巻・下条地域は、豊橋市の北部に位置しており、主に農村集落が点在する地域である。平成 18 年 10 月まで路線バスが 4 路線運行されていたが、1 路線を除く 3 路線が廃止となり、地域の大半が公共交通空白地域である。そこで地域住民が主体となり、安全に安心して豊かな生活をしていけるよう、地域に合った持続可能な私たちのバス（マイバス）を創ることを目的として、平成 21 年 7 月 24 日に「石巻・下条地域交通推進委員会」（以下、「推進委員会」）を設立。推進委員会では、「柿の里バス」の運行計画を策定し、平成 22 年 10 月 4 日から豊橋市地域公共交通活性化・再生協議会（当時）が主体となり、「柿の里バス」の実証運行を実施することとなった。推進委員会では、地域で利用される持続可能なバスとするため、ポスターやチラシなどの掲示・配布や校区ごとの説明会の開催など、PRを行っているが、「柿の里バス」の活性化を目的として活動を展開している。

柿の里バスの概要		
運行経路	石巻西川・賀茂線	石巻中山～石巻西川～和田辻東～神郷公民館～アイセロ化学北～赤岩口～豊橋医療センター（フリー乗降区間：中山中央～柿の里萩平）
	下条・森岡線	天王公会堂～和田辻東～森岡～アイセロ化学北～赤岩口～豊橋医療センター（フリー乗降区間：八反ヶ谷～生活センター、南森岡～住民会館）
運行日	月曜日～金曜日 ※土曜日・日曜日・祝休日、8月13日～15日、12月29日～1月3日は運休	
運行ダイヤ	6時台～16時台に 4.5 往復（9便）	
車両	ジャンボタクシー（乗車定員 9 名）	
停留所	石巻西川・賀茂線	34 箇所
	下条・森岡線	26 箇所
		2 路線共用停留所 13 箇所
運賃	大人 200 円～500 円（小学生半額） 小学生未満無料 ※回数券、柿の里パスポート（1 カ月券）あり	

（平成 24 年 4 月予定）

■取組のポイント

- ・「柿の里バス」を知ってもらい、乗車してもらうためのきっかけづくり
- ・地元企業や商店などの協力による事業実施
- ・日常生活での利用しやすさを考えたマップづくり
- ・地域資源の発掘とPR

■取組内容

○柿の里バスポイントカードキャンペーンの実施

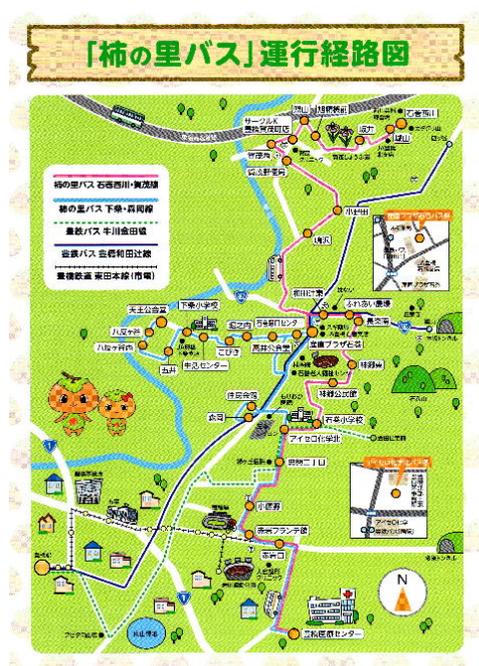
- ・地域の方に「柿の里バス」に乗車してもらうきっかけづくりのためにポイントカードキャンペーンを実施。
- ・「柿の里バス」の利用者に対し、1乗車に利用区間に応じた1～2ポイントを付与し、5ポイント貯まった利用者に対して景品を贈呈。事業実施にあたり地元企業からの協賛を受けた。



「柿の里バス」ポイントカード

○「柿の里バス」パンフレットの作成

- ・石巻中学校区・下条校区住民に対して「柿の里バス」をPRするため、沿線の小学校、中学校、老人福祉センターなどの公共の施設、医療機関や店舗の名称を入れたパンフレットを作成。
- ・石巻中学校区・下条校区の地域内に全戸配布するとともに、主要な公共施設や郵便局、医療機関等で配付。



「柿の里バス」パンフレット（運行経路図）



柿の里バスマスコット

○豊橋市公共交通マップの作成

「柿の里バス」を広く市民にPRするため、『「柿の里バス」おでかけ案内』を掲載した「豊橋市公共交通マップ」を、豊橋市都市計画課、公共交通利用促進ネットワーク、交通事業者の協力を得ながら作成。

この図は、豊橋市の公共交通に関する詳細な案内図と時刻表を示しています。左側の「柿の里バス」おでかけ案内には、カケノ山・柿の里の観光地、山客動物園、下島の自然、新郷ワインなどの観光資源が紹介されています。右側の「市内中心部図」は、豊橋駅周辺を中心とした主要なバス路線と停留所を示しています。下部には、各バス路線の名称、運行会社、所要時間、および時刻表が掲載されています。

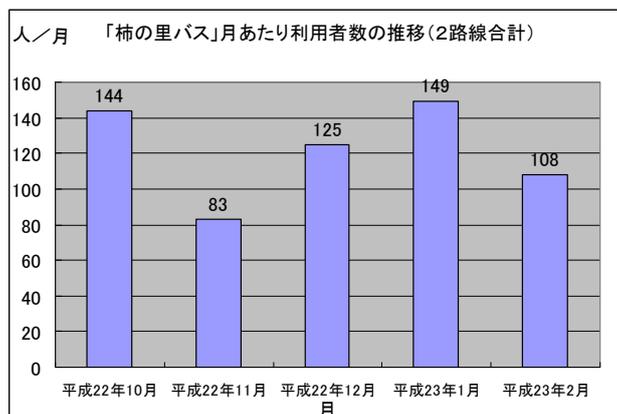
豊橋市公共交通マップ

■取組における展開方法・工夫等

- ・「ポイントカードキャンペーン」は、メンバーが地元企業へ協力依頼。
- ・パンフレットは、地域住民が「柿の里バス」を利用する際の乗り換え方法を提示し、目的地までの行き方を案内。また、マップ上には、日常生活で利用する沿線の医療機関や店舗を掲載し利用しやすいように工夫。
- ・公共交通マップでは、地域外の方に地域の良さを知ってもらうため、『「柿の里バス」おでかけ案内』として、地域の史跡や見どころを紹介。

■取組の効果

- ・「ポイントカードキャンペーン」を開始したことにより乗客数は増加。平成23年1月の利用者数は運行開始時の平成22年10月を上回った。
- ・公共交通マップの『「柿の里バス」おでかけ案内』を作成するにあたり、委員会のメンバーで地域資源について意見を出し合うことで、地域の魅力を再認識できた。
- ・事業を実施する上で、地域店舗やJA、地元企業などと連携・協力を図ったことで、地域での認知度の向上とイベントなどへの協力体制を構築することができた。



■取組内容

○1周年キャンペーンの実施

「柿の里バス」の実証実験運行開始から1周年を記念して、ポイントカード事業を実施。

○「柿の里パスポート」の導入

「柿の里バス」をより利用しやすいバスとするため、「柿の里パスポート」（1か月券1,000円）を導入。

○フリー乗降区間の導入

「柿の里バス」は、コミュニティバスとして地区内をきめ細かに運行しているため、交通量の少ない箇所には、フリー乗降区間を導入し、利用者の利便性向上を図っている。

○柿の里バスニュースの発行

「柿の里バス」をより身近に感じてもらうために、平成23年10月からニュースを発行。



■取組における展開方法・工夫

- ・「柿の里パスポート」の導入により、沿線の住民が何度でも利用しやすくなるよう工夫をしている。
- ・利用客の多くが高齢者であり、なるべく徒歩での移動を減らし、利用しやすい環境を整備するため、フリー乗降区間を導入。

■取組の成果

- ・「柿の里バスニュース」の発行は、推進委員会のメンバーによる自発的な発案により、発行を開始した。「柿の里バスニュース」の発行により、「柿の里バス」に対する愛着が広がっている。
- ・「柿の里パスポート」を購入してもらうことで、「柿の里バス」へ乗車するきっかけとなっている。

柿の里バスニュース

今後の課題及び展望

- ・買い物を目的とした利用者が少ないため、買い物目的の利用の潜在需要を掘り起こす必要がある。
- ・現在は、実証運行（平成22年～24年度）期間であり、さらなる利用者数の増加が求められている。そのために、「柿の里パスポート」を効果的に活用してもらい、利用客数の増加につなげる。また、バスを利用して買い物した利用者の方への特典を設けるなど、沿線の店舗などとの連携も検討する。
- ・定期的に運行ダイヤや路線を見直し、より利用しやすいバスとすることで、本格運行につなげることが課題。
- ・農業地帯であるため高齢者は農業用機械や軽トラックを使用する人が多く、自動車を運転することは日常生活の一部となっている。そのため、自動車が運転できなくなる以前に、バスを利用する機会を持ってもらい、バスに乗ることへの抵抗感を軽減していくことが必要である。
- ・「柿の里バス」の運行に関する取組を通じて、クルマから公共交通への転換を促すことにより、「エコモビ」の地域への浸透を進めていく。